



C.P.I. Mates No.70

発行日：2007年4月25日

発行者：特定非営利活動法人

C.P.I.教育文化交流推進委員会

東京都三鷹市中原 2-16-9

Tel : 0422-49-3808

Web ページ : <http://www.cpi-mate.gr.jp>

印刷所のご協力を得て期中会報は、この様式で行います



OPEN

乾いた状態で開いてください

スリランカで“卒業里子会”が発足します

教育里親制度は20周年を迎えます。

卒業生による活動が、始まろうとしています。

“教育里子”だった人たちの中には、社会の中堅を担う人々が出てきました。自発的に地域の貧困な子どもたちの力になろうとしている人々が大勢います。

彼らとともに、彼らが現地運営を担う教育支援を願い、新たな一歩を踏み出すときが来ています。

“卒業里子の集い”に参加しましょう。



交流ツアー 企画の概要

日程：2007年8月25日～30日
5泊6日（希望者は延長可）

開催地：スリランカ 首都コロンボ

内容：1.卒業里子の経験発表。
2.卒業里子会から里親へ感謝状贈呈。
3.ワークショップに参加。
4.現・教育里子との対面。

費用：概算20万円（延泊分を除く）

“スリランカ卒業里子の集い” ご参加の方へ

参加ご希望の方は、E-Mail または FAX でご連絡ください

連絡先：C.P.I.本部 宛

E-Mail : cpimate@gmail.com

FAX : 0424-84-1132

締め切り
5月10日

会員番号 _____

ご氏名 _____

E-mail _____

FAX _____

電話 _____

参加希望人数 _____ 人

◎5月28日に、東京でガイダンスを行います。

ご参加戴けますでしょうか？

参加できる 結果だけ知らせしてほしい

ご連絡の方には、追って詳細をお送りします。

旅行の延長をご希望の方は、現地の旅行社にお世話いただく予定です。

わたしたちの楽しみは、
成長した里子の活躍する姿です。



インドネシアの卒業生たちは
精力的に社会活動をしています。
2006年のジョグジャカルタ地震の
被災復旧には、多くの卒業生が
手伝いに行きました。



こちらは スリランカ。
女性の里子をもった里親ならではの
楽しみがありますね。

OPEN

乾いた状態で開いてください

おかげさまで 20 周年。さらなる発展を展望します

会員の皆様、C.P.I.の活動にご協力ご助力を
賜りありがとうございます。本年、当初から当会
の主軸を成しております教育里親制度プログラムが、
遂に 20 周年という大台を迎えることとなりました。

スリランカで 6,089 名、インドネシアで 4,400 名
の教育里子支援を続けられましたのは皆様の長
年のご支持によるものと厚く感謝を申し上げます。

さて、C.P.I.総会 2001 年決議の『ビジョン 21』
で(会報 No.50)重要なことを謳っております。

「卒業した教育里子たちは将来、地域センター
を拠点として社会の様々な課題に取り組むよう
なるだろう。その日のために、C.P.I.は、彼らに助力
できるよう、国連機関との連携も含めて準備を整
えていきたい(概要)」という記述がそれです。

教育里親制度で取り組んでいる“貧困ながら
優秀な学生への支援”に係ること、衛生や安全
に関すること、かの国々に必要なが調っていない
実務教育分野の開発などがそれに該当します。

インドネシアでは 1998 年の能力開発センターの
竣工(日本政府の無償支援)を契機に卒業生
活動が始まりました。スリランカでは今年、卒業生



20 周年を期して新たな船出を

成長した教育里子たちと共に歩もう

会が発足します。ここに両国ともに、卒業生と共に
歩むビジョンが形を成してきたと考えます。皆様の育
てくださった人々が、私たちの活動の仲間として歩
もうとしています。皆様、成長した彼らと会い、或い
は様子を知り、今の教育里子たちに勇気を与える
喜びを分かち合おうではありませんか。

C.P.I.本部は、そのために頑張りたいと思います。

C.P.I.会長 小西菊文

